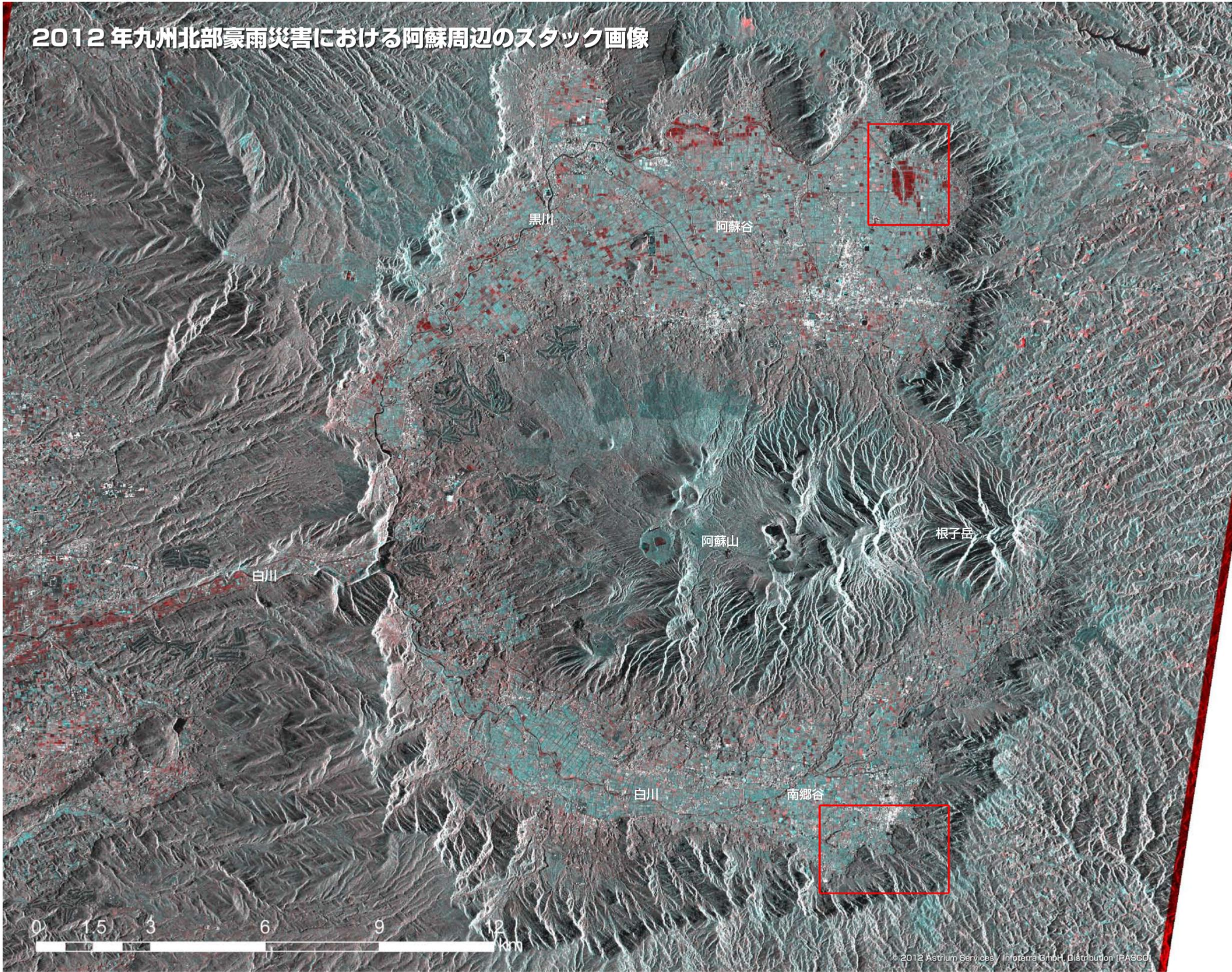


# 2012年九州北部豪雨災害における阿蘇周辺のスタック画像



阿蘇カルデラ内の全域の状況は未だ把握できていない。7月16日に公表した高解像度衛星画像でもほとんどの部分が雲に覆われており、全体の状況を知ることができるデータ(画像)が得られたのはこれが初めてである。

黒川沿いの広い範囲に湛水箇所が見える。対して南郷谷の白川沿いには湛水を示すパターンはほとんど見られない。立野から下流の白川本川沿いにも広い範囲に湛水箇所が見える。

この縮尺では小さくて確認できないが、南郷谷のカルデラ内壁や根子岳周辺に崩壊地と思われるパターンが多数見られる。

使用した人工衛星  
TerraSAR-X

凡例  
 拡大図の範囲

判読に使用した画像の撮影諸元

—被災前—  
 撮影日時：2007年9月12日 06:19(JST)  
 撮影軌道：Descending  
 撮影モード：StripMap  
 偏波：HH  
 入射角：39.16度  
 処理レベル：GEC

—被災後—  
 撮影日時：2012年7月18日 06:19(JST)  
 撮影軌道：Descending  
 撮影モード：StripMap  
 偏波：HH  
 入射角：39.16度  
 処理レベル：GEC

※ 撮影時点の情報に基づき、解析をしています。  
 ※ 被災した全範囲を抽出したものではありません。

